

様式（第9条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

| | |
|----------|--|
| 審議会等の名称 | 令和7年度第2回スポーツ推進審議会 |
| 開催日時 | 令和8年2月19日（木）13時30分～14時40分 |
| 開催場所 | 益田市立市民学習センター 102研修室 |
| 出席者 | 委員：大賀、豊田展、村上、豊田邦、岸、日高 (順不同、敬称略) |
| 議題 | (1) 地方スポーツ推進計画に関すること (2) スポーツ環境の整備及び促進に関すること (3) その他 |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 非公開の理由 | |
| 傍聴人の数 | なし |
| 審議経過 | <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 地方スポーツ推進計画に関すること</p> <p>○事務局より、益田市のスポーツ推進計画に位置付けている「第6次益田市総合振興計画後期基本計画（案）」について説明し、意見を徴取した。意見等については以下のとおり。</p> <p>日高委員：目標指標としてスポーツ施設の年間利用人数が合計で出ているが、前回までは内訳が運動公園で何人、ひだまりで何人という風に確かに出ていて、運動公園としてはその人数を目標に達成率を出していた。内訳は、今後出て来るか。</p> <p>事務局：基本計画には合計人数しか出していないが、算出根拠として内訳は出しているの、それをお示しする。</p> <p>豊田邦委員：中体連の関係で審議会に出させてもらっている。部活動の地域展開は、子どもたちが色々な競技に触れるチャンスだと思っている。学校からすると、部活動を削減したり、今まで必ず部活動に入らなければならなかったのを止めて、例えばカヌーを始める生徒、女子野球をする生徒など色々いる。国スポに向けてもだが、小中学生、場合によっては就学前の子どもたちが、多様なスポーツに出会う機会の創出といった</p> |

所を、学校を取り巻く部活動の環境と合わせて考えていただければいいと思う。

事務局：部活動の観点で言うと、協議会が立ち上がっており、現在は土日の地域移行の所が議論となっている。来年度は受け皿づくりを重点的にやりつつも、令和9年度以降の計画もやっっていく。それ以外の所で言うと、スポーツ環境の充実や、市民の体力・競技力の向上の所の中に包含しながら取組みを進めていくことになると思っている。部活動の地域移行だけでなく、広く機会を作っていくということで、各スポーツ施設の皆さんとも連携しながら、施策として進めていく必要があると思っている。そのことも含め、中学生の機会もどう作っていくか今後検討しなければならない。当然、スポーツ協会とも連携しながらということが出て来ると思う。

豊田邦委員：結局、全国の先端を行っている市町の話聞くにつれ、お金と人が付いているところが進んでいる。例えば、推進室みたいなところでスポーツならスポーツの受け皿を、ということ考えた時に、国スポは室が出来る。兼ねるわけには行かないかもしれないが、先ほど言ったようにピンチではなくチャンスと捉えて、色々な競技に子どもたちが楽しみながら参加する、その中で国スポにも競技者として参加する子どもが生まれていく、是非こういった声が市長にも届いて、お金も人も付くような形になると、老朽化した施設の整備や、運動公園を核にした夕方以降の受け皿づくりが展開しやすい。ナイター施設や送迎バスみたいな所も是非考えていただけるとありがたいなと思っている。

事務局：部活動の事は協議会の方で進めて行き、スポーツの計画の中には、そこも包含したものとして捉えていけると思う。推進室の話は、部活動の地域移行の方で進めて行きたいと思っている。国スポについては、競技力の向上や、くにびき国体が終わった以降も継続しているようなレガシーとして、スポーツの意義とか文化的なものも含めて、どのように次のまちづくりに繋げていくか、終わった後も見据えながら取り組んでいく必要があると思っている。そこに繋がる所に部活動の地域移行、子どもたちを含めた社会スポーツの受け皿が当然必要になるし、仕組みがあることも理解している。今、国スポを迎える地域と迎えない地域で少し差が出ているかも知れないが、今いただいた意見も踏まえながら進めて行きたい。

会長：「スポーツ協会を中心とした」と記載があるが、スポーツ協会の立場からすると、マラソンの運営で手一杯で、競技スポーツの振興であるとか、市民の健康づくり、地域の人が運動する機会を作るなどに手を出し

たいが、そこまで手が回らないのが実情で、申し訳ない気持ちがある。予算的にも厳しくなっており、指導者の研修会やイベントなど、何かやろうとしても元がない。そういった所を、益田市の方で予算的な所も含めて考えてもらえると、本来のスポーツ協会としての仕事をもう少し余裕を持って出来るのではないか。昔は地域の運動会みたいなものがたくさんあったのが一気に無くなったりして、健康に対する意識が、比較的時間のある高齢の方が取り組まれている姿は良く見るが、子育て世代が運動する機会が無く、それを運動公園の色々な教室で補っている、頼っている部分がすごく大きいと思っている。自分はスポーツ協会の立場なので、何かやっていないといけないという思いはあるが、なかなか出来ず申し訳ないという気持ちと、もう少し充実させないといけないという気持ちがある。中核を本当はスポーツ協会が担わないといけないのだろうが、なかなか上手く行っていない気がしている。

(2) スポーツ環境の整備及び促進に関すること

○事務局より、2030年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて整備を行う「ひだまりパークみとサッカー場」について説明。続いて、益田陸上競技場の第2種公認更新について説明。意見等については以下のとおり。

1) ひだまりパークみとサッカー場の整備について

村上委員：使う人としては、天然芝と人工芝のどちらがやりやすいか。

会長：天然芝はグラウンドによって芝が異なる。人工芝の方が安定しており、やりやすい。ただ、夏はすごく暑くなる。スパイクを履いて行くと、足の裏が水膨れになる。冷やしても治らず、1度出来ると1週間程度は痛くて出来なくなる。実際にここ数年は、子どもを連れて夏に遠征しても、残り2日くらいは水膨れで出来ない子が大半になる。そういうデメリットもあるが、資料にあるような黒チップを使わない、選手に優しい芝もある。

岸委員：試合をするのは、天然芝が多いのか。

会長：人工芝で試合することが多い。高校、大学は皆人工芝になっている。資料にある人工芝の施工だと、一番下が土になっている。普通はコンクリート。こういったものを採用出来ると、他とは差別化した人工芝の会場になる。

豊田邦委員：この人工芝を設置する具体的な場所はどこか。

事務局：人工芝にする可能性があるのは、ひだまりパークみとサッカー場

のみである。整備する場所としては、陸上競技場や県立サッカー場もある。

日高委員：陸上競技場は2種公認なので、人工芝には出来ない。

豊田邦委員：県立サッカー場は島根県の施設なので県が行うのだろうが、人工芝ではいけないのか。

会長：例えば、Jリーグは人工芝では行わない。

豊田邦委員：開催の可能性が限定されてはいけないということか。

会長：国スポは、準決勝以上は天然芝となっている。

事務局：カテゴリーでも会場の制限があり、国スポを考えると全部を人工芝には出来ない。

会長：公式の会場に人工芝の所は無く、天然芝になっている。高校生や大学生が練習ですっと使わないといけないような所は、人工芝にしておいた方が長持ちもするし、管理も楽である。

村上委員：将来的にもサッカーですっと使っていくことになれば、人工芝にしておいた方が使いやすいと思う。

会長：人工芝だと、1日中使ってもそんなに傷まない。天然芝のグラウンドだと、雨の日に使うと芝が剥げてしまう。そういう面では、人工芝はすごく便利である。その中でも、この資料にある芝はいい芝じゃないかと思う。

豊田邦委員：完璧には覚えていないが、中学校の県大会を益田で行うが、会場としてどうしても吉賀の人工芝を使わなければならないが、熱中症の関係があり、医者と看護師を常駐させないといけないということで、予選のほんの数試合のために派遣してもらった。国スポで使う期間は、真夏ではないということでもいいか。

事務局：だいたい9月～10月、まだ暑い時期ではある。

豊田邦委員：人工芝は、照り返しというのはあるのか。

会長：照り返しというか、もわっとする。下が熱を含んでしまうので、プレーしている選手はすごく熱い。

豊田邦委員：さっき場所を聞いたのは、山影があつたりすると違うのかなと思ってのこと。まさか屋根は付かないだろう。

会長：スプリンクラーで水を撒くことの出来る人工芝もあるが、そんなに涼しくない。

現在みとサッカー場は2面あり、外側にも結構なスペースがある。全部を人工芝にし、フットサル場みたいなものも作ってしまえば、多くのスペースを活用出来ると思う。使い勝手も良い。広島の大朝に人工芝2面のグラウンドがあるが、常に誰か使っている。せつかく整備するなら、

2面人工芝があった方が使い勝手はすごくいいと思うし、中体連等が大会をする際にも同じ会場で出来る。明誠高校と東高校はグラウンドが無いので、入れ替わり立ち代わり天然芝の上で練習しており、管理が大変ですすぐ傷んでしまうと思う。人工芝なら、そういった心配は無い。1面を天然芝で残しても、現在水を撒く施設が無い。散水する施設があれば管理も出来ると思うが無いので、人工芝の方が管理がしやすいと思う。芝を管理するのに、水を撒く、肥料を撒く、芝を刈るという作業などがあるが、水が撒けないというのは一番影響が大きい。お金は掛かるが全面人工芝に出来ると、使う側からするとすごくいいと思う。天然芝だと芝が伸びるのでラインを引き直す必要があるが、その手間も無くなる。

豊田邦委員：明誠高校と東高校が交互に使っているという話があったが、今後の稼働率を考えると、中学校のイメージだと週末に使うくらいしか無いが、高校は使う。費用も払っているので、維持費の補填にもなると思う。

岸委員：明誠高校のグラウンドは天然芝になっているが、使えない期間がある。

会長：きちん維持管理出来ているみたいだが、サッカー部の練習はなかなか出来ていないようだ。良い状態を保つのは大変だと思うが、使えないと意味が無いと思う。

六日市に人工芝があり、その横にもう1面人工芝を作る予定となっている。広島や山口から来て使う人が多いのではないかな。

照明も、LED化した方がいい。出来るかどうか分からないが。

事務局：悩んでいるのは、トータルコストの部分。今は10年で積算しているが、これが伸びるとまた変わってくる。頻度や使い方にもよる。益田市内に人工芝のグラウンドが1つも無いということもある。常に使える状態になっている天然芝というのが理想だと思うが、現実的には難しい。話を聞くと、現実的な所では人工芝の方が使いやすいのだろうと感じた。あとは環境面の所で、天然芝でも農薬をかなり使う。今までは、ゴムチップが川に流れていく等をよく聞いていたが、排水の所でかなり防ぐことが出来る。環境にやさしいものも多く出てきており、トータルでどのように判断していくか、とても悩ましい。

会長：コストは同じくらいになるのではないかな。本当は、天然芝も10年程度で張り替えが生じる。何十年も良い状態を保つのは難しい。そうなると、人工芝と同じだと思う。

事務局：インシヤルコストだけ見ると人工芝が高いが、ランニングコストまで見ると、今の試算だと逆転する。

会長：過去には、サッカー場は練習で使わせてもらえないからと文句を言う人もいた。そういうことも考えると、人工芝がいい。

村上委員：使用頻度が高くないと面白くない。せっかく作ったものを使えないようでは。

事務局：美都のコンセプトとして、二川の宿泊施設と合わせた合宿誘致なども含め、トータルで考えるようなものもある。天然も人工もあるというのは、訴求力になるのではないかと思う。また運動公園もあるので、一体的な活用にも繋がっていけばいいと思う。スポーツタウンみたいなことを考えた時に、スペックとして様々な設備があるということは魅力の1つになる。地元の人にもたくさん使ってもらいたい。

豊田邦委員：変なことを聞くが、今話しているのはサッカー専用ということか。

事務局：名前はサッカー場である。

会長：グラウンドゴルフをすることもある。

豊田邦委員：そういう使い方も許されるなら、日中に、ご高齢の方がグラウンドゴルフで使うとなるなら、稼働率も上げられる。サッカー専用となると、中高生の利用は平日は夕方から夜間となる。ラインが引いてあっても中で色々なスポーツが出来るということを思うと、人工より天然の方が使い勝手がいいと思う。

事務局：先日、障スポの視察でサッカー会場に行ったが、色々な線が引いてあった。様々な使い方、競技を想定してのものだと思うが、色も様々だった。

2) 益田陸上競技場の第2種公認更新について

村上委員：実際に、2種に該当するような大会を開催しているのか。

事務局：大きな大会でいうと、西中国大会を開催している。

日高委員：毎年行う大会で一番大きいのが西中国。高体連の県大会があるが、3種でも出来ると説明があったが、3種になると来ないと思う。陸上競技は、勝ち負けでなくタイムで上の大会に行けるかが決まる。0.0何秒の世界というところで、それだけの精度が求められる。また記録会というのがあり、2種公認の会場で行われるが、そこでの記録で上の大会に行けるというのも、コロナ過以降多くなっている。こういうのも、3種に落とすと島根県西部には会場が無いので、出雲、松江に集中することになる。メリットとしては、陸上大会の有無で利用人数が全然違う。陸上大会が一番利用人数が多く、選手に加え応援する人も益田市に泊まることになるので、大きい大会の有無による益田市の経済への影響は相

当あると思う。デメリットとしては、更新することによりすごくお金が掛かる。問題ないような器具でも、指摘されると買い換えないといけない。

岸委員：認定を受けないと大会が来ないというのは駄目だと思う。

村上委員：西部に会場が無いのもどうか。

豊田兼委員：今、中体連の大会は、浜田市が全部益田に来て、合同で益田陸上競技場で行っている。そこで、県大会や中国大会の公認記録を取ったりしている。ただ、その上に行くためには浜山に行って通信陸上などに出る必要があるので、みんなそこに行く。三浦龍司選手のような選手が、今後大田以西、益田に集まって行う大会から出て来るということを考えると、是非。

会長：何年に1回あるのか。

事務局：5年毎に更新がある。

日高委員：投擲競技などでも、芝生が高くなるとそれだけ記録に影響出るので、全てを張替えることになる。また国際大会のルールが変わるたびに、改修が必要になる。

豊田展委員：話を聞いて、メリット、デメリットは良く分かったが、その上で市も悩まれ議題になっていると思うが、具体的にどこを直すといくら掛かるという試算をしているか。

事務局：来年度受ける事前検定で、更新に向けての指摘を受け、それから事業費を出すことになる。前回会議で示したのは、国スポのサッカー競技をする際の陸上競技場への指摘事項である。今度は、陸上競技として指摘を受けることになる。

豊田展委員：より厳しくなるということか。

事務局：そうなると思う。判断するのに、単純な工事費の部分と、副産物として経済効果の部分なども合わせ、今度指摘を受けた時に具体的な話が出て来ると思う。その際にはあらためてデータをお示しするので、ご意見をいただければと思う。本日は今まで認定を受けてきたことを踏まえ、今後の方向性として、事前検定を受ける前に皆さんの意見を伺った。

会長：認定を受けなかったら、陸上をやる人は皆、出雲に集まることになってしまう。

4. その他

○事務局より、以下について説明。

- ・第2次益田市教育ビジョンについて
- ・令和7年度益田市スポーツ・文化全国大会等出場激励費の支給状況に

| | |
|------|---|
| | <p>ついて</p> <ul style="list-style-type: none">・益田市スポーツ・文化顕彰について・令和8年度の主要イベント <p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上。</p> |
| 問合せ先 | 益田市教育委員会ひとづくり推進課 0856-31-0622 |